

いざという時は瞬時に担架に。救護を待つ間の静養ベッドに。

**エアバッグ式担架はCO2(炭酸ガス)で瞬時に膨張!**

ボード装着によりエアバッグ底面をプロテクトし生地の擦れを防止!  
ボードを地面に付けてスライディングさせながらの一人搬送も可能!



エアバッグを作動して約3秒で膨張します。

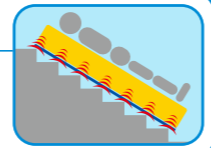
**エアバッグでフレキシブルに対応**

- ・フレームレスなので、階段やエレベーターなど狭い場所でも小回りがきき、取り回しが容易です。
- ・本体に損傷が無い場合はCO2(炭酸ガス)ポンペを交換すれば簡単に何度でも再生・使用可能です。
- ・エアポンプを利用して手動で膨らます事も可能です。
- ・エアバッグを作動させない状態でも通常の担架として使用できます。
- ・丸ごと水洗いでき、再使用できます。

**エアバッグ方式によるメリット**

**階段でのスライディング搬送が可能。**

ボードで滑らせ、エアバッグの空気の層が衝撃を吸収します!  
階段をスライディング搬送させてもボードでプロテクトし、エアバッグの空気の層がクッションになり衝撃を吸収し、搬送人への衝撃が緩和されます。



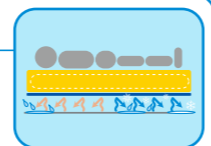
**丸めてコンパクトに収納。**

普段は収納バックに入れ、コンパクトに保管。  
収納時は幅86x高さ22cmの専用収納バックに収まり、ロッカーやベッド下など縦横に収納可能です、便利な持ち手付。



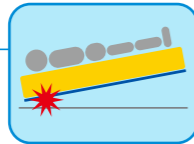
**地熱をシャットアウト。**

空気層とボードにより、夏のアスファルトの高熱、雨水、雪上の冷気など、着地面の悪状況から傷病者を守ります



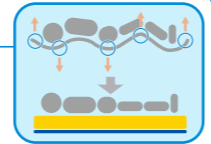
**搬送人への衝撃減少。**

エアバッグ方式の為、担架で搬送中に壁や柱などの障害物に接触しても、エアバッグがクッションになり搬送人への衝撃が緩和されます。また、着地時の振動・衝撃から傷病者を守る事が出来ます。



**首や腰への負担を軽減します。**

強固な7本のエアバッグの膨らみにより、首や腰などにかかる負担を軽減します。



**使用イメージ 搬送人の人数や現場の状況に応じて様々な搬送が可能です**



**搬送シミュレーション**



スライディング搬送 4人搬送 階段搬送 階段搬送 階段搬送

**エアバッグ式担架+ボード**

リサイクル原料のプラスチック素材を使用したマルチレイヤーボードを採用! **優れた強度** **優れた耐久性** **優れた防水性**



**作動方法** 簡単な作業で **作動** **再生** **収納** が可能!!

エアバッグ式担架をバックから取り出してひろげます。  
丸まった状態で作動させないで下さい。

ポンペを写真(作動)のように立てた状態で起動装置のひもを引けば、エアバッグが作動します。

約3秒で完全膨張し、使用可能な状態です。

**収納バックに丸めてバックに収納!**  
サイズ:W86・H22・D22cm

**グリップ付ベルト**  
ワンタッチバックル/強度160kg

**胸部固定ベルト(ベルクロ仕様)**

**滑り落ち防止フットカバー&固定ベルト**

**再生方法** 本体に損傷が無い場合、CO2(炭酸ガス)ポンペを交換すれば何度でも再生・使用可能です。

**空気抜き**  
1 空気抜きバルブをキャップ突起部で押込む  
2 丸める様に空気を抜く  
3 空気抜きバルブにキャップをする

**再生手順**  
1 起動装置をおさえ、ポンペを回し抜く  
2 レバーを上げる  
3 新しいポンペを最後まで押し挿入  
4 再生完了。すぐに使用できます。

1 使用後、空気抜きバルブをキャップ突起部で押込み、全体を丸めるように完全に空気を抜きます。  
2 写真手順で使用後のポンペを回し抜き取り、レバーを上げて新しいポンペを挿入します。

**オプション別売**

交換用 CO2ポンペ 100cc(70g)

エア補給ポンプ

オプション品一式 交換用CO2ポンペ、エア補給ポンプ、オプション収納メッシュポーチの3点セット

**スペック**  
素材:エアバッグ担架  
表面(黒)ナイロン240D ポリウレタン加工  
裏面(黄)ナイロン210D ポリウレタン加工  
付属部:ナイロン420D、ポリエステルメッシュ  
ボード:ポリプロピレン・ポリエチレン  
収納バック:ポリエステル600D  
カートリッジポンペ:CO2/二酸化炭素 100cc (70g)  
サイズ:ボード全長190cm 幅80cm 厚み1.5mm  
エアバッグ担架全長178cm 幅80cm(非膨張時)  
重量:約5.5kg(バック含む約5.7kg)

**注意**  
・丸めた状態で作動させた場合、破損する恐れがあります。  
・完全に空気を抜かない状態で作動させた場合、破損する恐れがあります。  
・空気が残った状態では収納バックに収まりません。  
・カートリッジポンペの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい、ポンペがゆるんだ状態では正常に作動しません。  
・一度作動(使用)したカートリッジポンペは使用できません。  
・カートリッジポンペは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中などでの保管はおやめください。)  
・コンクリートやアスファルトなどの路面の上を引きずる場合はボードが傷ついたり、裂けたり、破損する恐れがあります。